

キーワード	Y3	装置・設備	Z4	電力	S3	ZEB/BEMS
				D		建設業

株式会社 日建設計

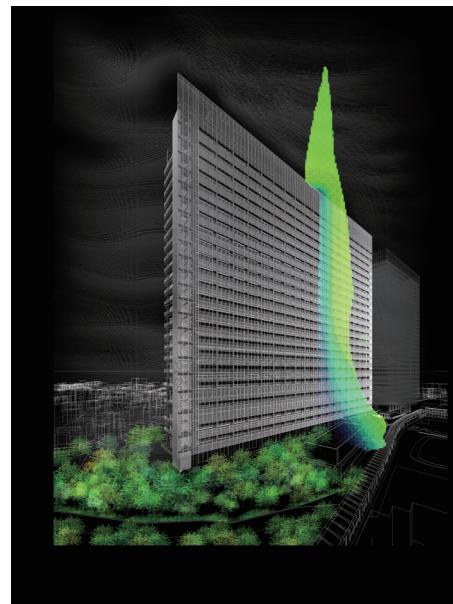
存在自体が環境装置となるオフィス

特徴

大規模建築のスケールを生かして、存在自体が「環境への貢献」となる建築を目指しました。この計画は、ソニーの研究開発型オフィス計画で、良好な都市景観を実現しつつ、ビル風やヒートアイランド現象を抑制するために、建物が東京湾からの海風を遮らない配置となるように心掛けると共に、建築のフットプリントができるだけ小さく計画して、人工地盤ではない「本物の森」をつくることを目指しました。

外装計画は、方位に則したデザインを行うことで、周辺環境と調和した計画にすることを目指しました。たとえば、西側にはエレベータなどを配して西日を遮り、南側には庇を兼ねたソーラーパネルを設置し、日射負荷を抑えつつ太陽光発電を行っています。

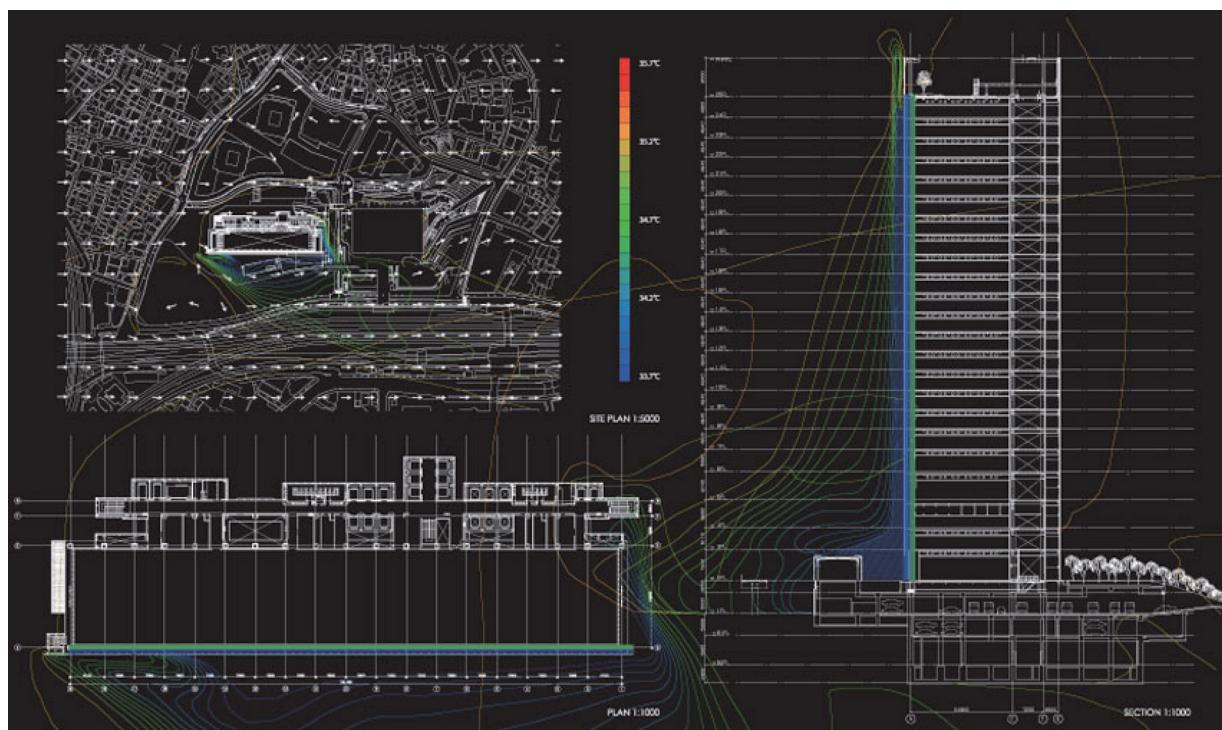
東側全面には、素焼きの陶器の簾を配して、その中に雨水を通すことで「打ち水効果」を発生させます。これにより、簾の表面のみならず周辺気温も低下させ、オフィス自体が、約20,000m²の森に相当するクールスポットとして働き、ヒートアイランド現象を抑制します。



概要 or 原理

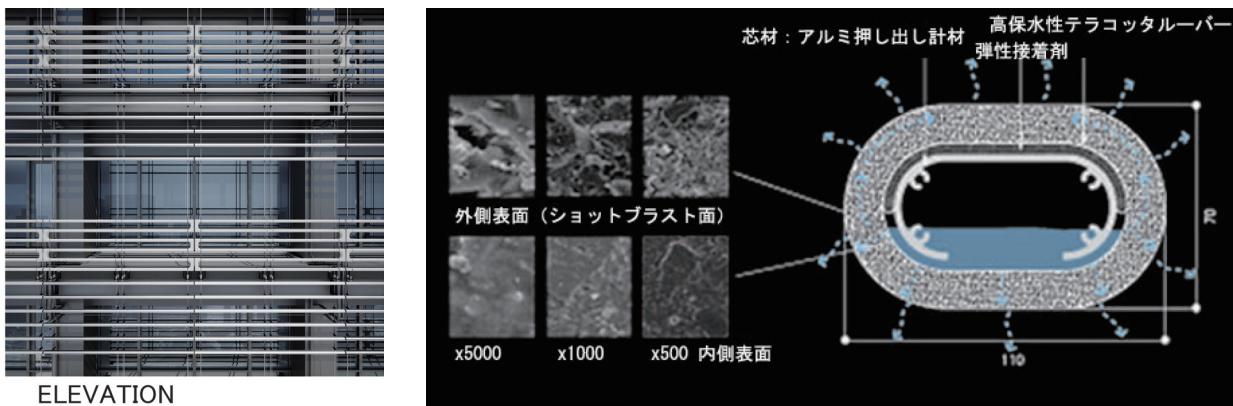
昔からの日本の風習に、涼をとるために水を撒く「打ち水」があります。バイオスキンは水が気化する際に周囲の熱を奪う「打ち水」効果によってヒートアイランド抑制に寄与する新しい外装システムです。

東面全体にバイオスキンを配しています。南からの卓越風を東面全体で冷やす事によって周辺空気温度を約2°C低下させ、冷房負荷を低減すると同時に、快適な外部環境を創出します。

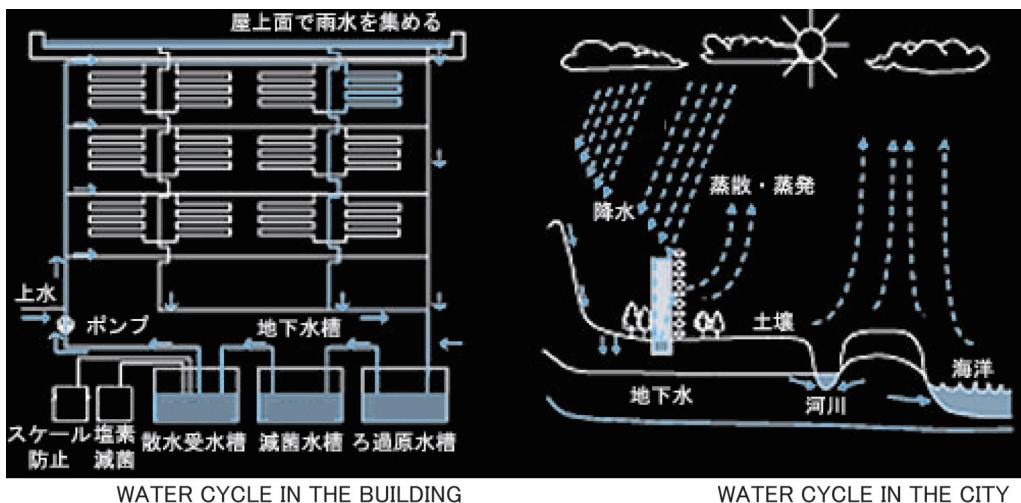


省エネ効果 & 特記事項

プリミティブな新技术/多孔質な陶器の管内に雨水を通す



土で多孔質な陶器製の官をつくり、屋根で集められ地下の貯水槽に蓄えられた雨水がポンプアップされ、すぐれ上に繁げられた管内を循環します。雨水は陶器に浸透し、保持され、表面から蒸発し、その際の気化熱によって周辺空気を冷やします。



降った雨をすぐに下水に放流するのではなく、建物外皮において蒸発させ、それでも余った水をできる限り敷地内の土に浸透させる。それは都市環境における水循環の正常化、下水インフラへの負荷の低減にもつながります。

導入実績または予定

国内

ソニー株式会社 ソニーシティ大崎



コンタクト

株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋 2-18-3
Tel : 03-5226-3030
URL : <http://www.nikken.co.jp>